

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 22-029)

1 米空軍は、ルールに基づく自由で開かれたインド太平洋の確保に必要な技術の訓練のため、米空軍機及び空軍兵が約 2 週間、パラオ国際空港で飛行作戦を行うことを発表した。パラオでの航空機の安全運航のほか、パラオへの支援が必要な場合に迅速に展開する能力を確認するもの。

[原文](#)

(28th October 2022, Island Times)

2 台湾の頼清徳副総統が 124 人の代表団とパラオを訪問、民主主義、自由、人権を支持するパラオを称賛し、パラオと緊密に協力することを約束した。

[原文](#)

(2nd November 2022, Island Times)

3 豪州政府は、豪州とパラオを結ぶ新たなフライトが 12 月 13 日から開通すると発表した。ニューギニア航空が豪州政府の財政支援である” Australian government’s Pacific Flight Program during the initial establishment phase” を受け、ブリスベン、ポートモレスビー、コロールを結ぶ。

[原文](#)

(2nd November 2022, Island Times)

4 豪州国防軍 (ADF) は、Solania 作戦を実施し、フォーラム漁業機関 (FFA) の Kuru Kuru 作戦を支援した。Kuru Kuru 作戦は 10 月 17 日から 28 日まで実施され、ミクロネシア連邦 (FSM) ・ポンペイを拠点に、C-27J スパルタンと 20 人の部隊が派遣された。この作戦に参加した FSM 巡視船 Tosiwo Nakayama の司令官は、「豪州政府は作戦のために燃料と食料を提供してくれた」と述べ、FSM への支援と ADF と協力する機会に感謝していると発言した。Solania 作戦は、ADF による太平洋地域の海上監視に貢献するもので、FFA の Rai Balang, Tui Moana, Island Chief 及び Kuru Kuru の各作戦を支援している。

[原文](#)

(1st November 2022, Australian Government Department of Defence)

5 マーシャル諸島 (RMI) 議会は、太平洋諸島フォーラム (PIF) 加盟を再確認する決議を採択した。2 つの決議を同時に採択し、RMI の PIF 加盟終了を支持した 2021 年の決議を取り消したほか、PIF への加盟が外交政策と地域協力に「不可欠」であることを再確認した。(※SRO News22-014 参照)

[原文](#)

(7th November 2022, Marianas Variety)

6 豪州は今後 4 年間で太平洋地域への ODA を 9 億豪ドル (※約 6 億米ドル) 増額する。太平洋海上安全保障プログラム (Pacific Maritime Security Program) を通じて IUU 漁業対策への支援を強化する。パラオの豪州寄贈巡視船 PSS Remeliik II は、パラオ EEZ の治安確保能力の向上とともに、両国の安全保障協力の強さを示している。また、オーストラリア放送協会が番組のコンテンツの共有、制作支援、太平洋地域のジャーナリストへの研修を提供するなど、太平洋地域のメディアを支援、パラオメディア諮問会議 (Palau's Media Council) にも継続的な支援を提供する。豪州はまた、「太平洋諸島地域のためのオーストラリア・インフラ資金調達ファシリティ (AIFFP)」の元に太平洋気候インフラ融資パートナーシップ (Pacific Climate Infrastructure Financing Partnership) を設立したほか、AIFFP による無償資金を 10 億豪ドル (※約 6.7 億米ドル) に倍増し、30 億豪ドル (約 20.1 億米ドル) の融資と合わせ、パラオを含む太平洋全域における高品質で気候変動に強いインフラプロジェクトへの支援を強化する。また、AIFFP を通じて豪州はパラオ、日本及び米国と共同で 2 本目の光ファイバー海底ケーブルシステムに出資している。さらに、豪州はパラオ・ソーラー・プロジェクトに出資してパラオの再生可能エネルギー移行を支援しており、2023 年末までにパラオの総エネルギー需要の 20%を賄う見込みだ。

[原文](#)

(28th October 2022, Island Times)

7 Lowy Institute (※豪州のシンクタンク) は、Pacific Aid Map の更新版を公開した。2008 年から 2020 年までの全ての太平洋援助プログラムが含まれている。データによると、2020 年は太平洋地域への援助と開発が過去最大で、3 億米ドルが支出され、2019 年比で 33%増、2008 年比で 2 倍となった。新型コロナウイルスの影響により、貿易や観光に依存する太平洋地域経済への直接的な予算支援が拡大した。同 Map のプロジェクト・ディレクターによると、太平洋諸島への支援でローンが占める割合は、2008 年は 18%だったが、2020 年には資金調達全体の約半分 (46%) にまで増加した。2008 年以降、太平洋地域への援助割合は豪州 40%、NZ (8.6%)、日本と中国 (各 8.5%)、米国 (7.8%) となっていたが、2020 年はアジア開発銀行がローンと助成金の総額を 3 倍に増やして 1 位となった。

一方、同 Map には未だ含まれていないが、豪州はパプアニューギニアに同 Map 史上最大の 6.5 億豪ドル (※約 4 億 3500 万米ドル) を融資しており、同氏は豪州が「第一のパートナー」としての役割を取り戻すと見込んでいる。2020 年の地域の援助受領国上位は、パプアニューギニア、フィジー、ソロモン諸島、バヌアツだった。同氏はまた、中国の開発資金総額が 2016 年をピークに減少し続けていることを指摘した。中国はキリバスやソロモン諸島を援助対象としているが、2020 年には中国の開発資金総額は 1 億 8700 万米ドルに落ち込み、2008 年以来最低の水準となった。同氏は予備データでは 2021 年も減少が続いている

と述べている。同 Map によると、中国は太平洋の 10 カ国に一人当たり 220 米ドルを投資しているのに対し、台湾は太平洋の同盟国であるツバル、パラオ、ナウル、マーシャル諸島の 4 カ国に一人当たり 1,783 米ドルを投資している。

[原文](#)

(30th October 2022, The Guardian)

8 豪州連邦警察 (AFP) はソロモン諸島警察に対し、警察活動パートナーシッププログラム (Policing Partnership Programme) を通じて、小銃 60 丁と 4WD 自動車 11 台及びトラック 2 台を提供した。ソロモン諸島の野党党首は、武器の供給について「非常に憂慮すべきことだ」とし、最近政府に対する不満を示す国民の行動 (※昨年の暴動) があったこともあり、武器が国民に対して使用される可能性がある」と述べた。ソガバレ首相は、治安に重点を置いており、警察には多くの訓練と準備がされており、武器の使用が当然になるわけではないと述べた。

[原文](#)

(2nd November 2022, PACNEWS)

[原文](#)

(3rd November 2022, Radio NZ)

9 中国はソロモン諸島警察 (RSIPF) に対し、放水車 2 台、オートバイ 30 台、車 20 台を寄贈する。この引渡式は、豪州が RSIPF に小銃と車両を提供したわずか 2 日後に開催される。これはソロモン諸島で豪州と中国の競争が激しくなっていることを示すものである。豪州連邦警察 (AFP) は、RSIPF への訓練と装備に 20 年間の長い実績を持っているが、中国はここ 12 か月の間に RSIPF との独自の協力プログラムを急速に強化している。

[原文](#)

(4th November 2022, Australian Broadcasting Corporation)

10 バヌアツ新首相に Ishmael Kalsakau 氏が指名された。(※閣僚名簿は原文参照)

[原文](#)

(4th November 2022, PACNEWS)

[原文](#)

(7th November 2022, PACNEWS)

11 10月26日午後8時頃 (※インドネシア時間) にリアウ諸島バタム市 Takong Kecil 島付近に座礁したジブチ船籍タンカー MT Young Yong は、11月10日に離礁した。同船は 332m、乗組員 25 名で、原油 284,429 トンを輸送しており、座礁地付近には天然ガスのパイプラインが敷設されていたが、この事故で死傷者や環境被害は報告されていない。

[原文](#)

(29th October 2022, Antra News)

[原文](#)

(11th November 2022, The Strait Times)

12 シンガポールとインドネシアの情報共有により、シンガポール海峡を航行する船舶を狙った7人の男が逮捕された。シンガポール海軍 IFC (Information Fusion Centre) は11月3日、犯人がシンガポール海峡で東向きの分離通行帯を航行するタグボートに乗り込み金属スクラップを盗んだとの情報を入手後、直ちにインドネシア海軍のオペレーションセンターにその情報を伝えた。インドネシア海軍は同国海上警察と連携して船舶を派遣し、「取締船を見た犯人は逃走を試みるも、そのうち7人は逮捕された」と IFC は述べた。

[原文](#)

(11th November 2022, TradeWinds)